

奇

奇は、大と可との会意形声字です。“大いによろしい”ということで、“珍しい”という意味を表わしています。珍しいことは二つとはないので、“一つ”の意味にもなります。また、珍しいことは、“不思議”なことでもあり、変だなあと“あやしむ”ことにもなります。音は可^カの変化したキ。

珍しい……………「珍奇」「奇計」

一つ ……………「奇数」

不思議……………「奇術」「奇跡」

あやしむ……………「奇怪」

崎は、“珍しい山”という意味の会意形声字です。音は奇^キです。普通の平地にある山形の山ではなく、海の中に突き出たゴツゴツした岩の多い珍しい形の山で、“みさき”のこと。“崎”の漢字は単独では使われず、「山崎」とか「長崎」とか使われるので、「さき」と読まれます。

^{さき}先の意味のことばです。

埼は、崎と同じ成立ちで“珍しい上地”つまり、変化に富んだ地形

の土地の意味です。訓は崎と同じ「さき」です。

綺は、“珍しい糸”という意味の会意形声字で、音は奇^キです。“あや模様のある絹糸”のことを言います。「綺羅星の如く……」などと使われますが、**羅**は薄くすきとおった絹のことです。どちらも昔は貴重な物でした。「綺麗」は、綺のように美しいという意味の字です。わが国では、「きれいにすっかり忘れてしまった」などとも使います。

倚は、人は珍しい物に“よりつく”という意味で人と奇とで“よりつく”意味を表わしたものです。音は、奇^キ。また、子音が取れてイとも発音します。この場合は、“依”と同音同義になります。倚託(依託)、倚頼(依頼)。

椅は、倚の意味の奇と木との会意形声字です。“倚りかかるための木製の道具”という意味の字です。「椅子」という言葉のために作られた字です。音は倚^イです。

寄は、“家に身を倚^よせる”という意味で、家の意味の宀と、倚の意味の奇との会意形声字です。音は倚^キです。

寄宿、寄港(船が港による)。寄稿。また、“与える”意味にも使われます。寄贈、寄付、寄与。